

令和 7 年度

事業報告書



令和 7 年度 社会福祉法人五倫会 事業報告

令和 7 年度は、障害福祉分野における制度改革の進展し、地域生活支援体制の一層の強化が求められる一年となりました。当法人は、「誰もがありのままに、その人らしく暮らす共生社会の実現」という理念のもと、各事業の質の向上と新たな挑戦に着実に取り組んでまいりました。

特に、令和 7 年 1 2 月に着工した姫路暁乃里新棟の竣工に向けた準備、令和 8 年度開始を目指す自立生活援助事業の立ち上げ準備、高齢・重度化に対応したグループホーム整備の具体化など、地域生活支援拠点としての機能強化に向けた基盤づくりを進められたことは、本年度の大きな成果です。

また、令和 6 年度に兵庫県より認定された強度行動障害スーパーバイザー（SV）2 名を中心に、法人内での専門支援の普及・実践を推進し、支援の質の底上げと地域への貢献を図ることができました。職員一人ひとりが学び続け、利用者の皆さまの「その人らしい暮らし」を支える姿勢は、当法人の大きな強みであると改めて実感しています。社会福祉法人として、地域のために講師派遣やコンサルテーションを行う「地域支援事業」を積極的に取り組み、地域福祉の向上に寄与することができました。

さらに、新人事給与制度の準備や ICT 活用による業務改善など、持続可能な経営基盤の確立に向けた取り組みも着実に前進しました。これらの取り組みは、今後の事業展開を支える重要な土台となるものです。

以下に、令和 7 年度における主な取り組みと成果について報告いたします。

1. 評議員会・理事会の開催

令和 7 年度も、定款に基づき評議員会及び理事会を適切に開催し、法人運営の透明性とガバナンスの強化を図った。

評議員会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和 7 年 6 月 21 日 10:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第 1 号議案 令和 6 年事業報告(案)及び収支決算(案)承認の件 第 2 号議案 姫路暁乃里新設工事の入札方法の決定の件 第 3 号議案 次期役員等候補者（案）の件 第 4 号議案 法人所有地の活用の件 報告事項 理事長職務執行状況について ・姫路暁乃里新設工事について ・就業規則（賃金規程）の変更について ・姫路暁乃里運営規定の変更について	評議員 門脇、碇、西川、小西、林、横山（6 名） 監事 内海、笠原（2 名） ※評議員選任・解任委員 守分（1 名）
令和 7 年 10 月 12 日 11:00～ 川飛	報告事項 理事長の職務執行状況について ・姫路暁乃里新設計画に係る工事請負契約締結について ・姫路暁乃里新設計画に伴う今後のスケジュールについて 決議事項 第 1 号議案 姫路暁乃里新設計画に伴う借入金融機関選定及び担保提供の件	評議員 門脇、濱西、三木、小西、内海（5 名） 監事 笠原（1 名） ※評議員選任・解任委員 守分（1 名）
令和 8 年 3 月 29 日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第 1 号議案 令和 8 年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 第 2 号議案 役員賠償責任保険の件 第 3 号議案 障害者施設総合補償制度の件	評議員 門脇、碇、濱西、小西、三木、内海（6 名） 監事

	第 4 号議案 就業規則変更の件 報告事項 理事長の職務執行状況について - 令和 8 年度以降の組織体制について - 姫路暁乃里新設計画について - 奨学金返済支援事業補助金について - 食事サービス提供業務委託契約内容改定について - 地域連携推進会議について - 太陽の郷の過誤返還について - 土地貸借契約書について - 職員採用・退職状況について	なし
--	--	----

理事会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和 7 年 6 月 6 日 18:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第 1 号議案 令和 6 年事業報告(案)及び収支決算(案)承認の件 第 2 号議案 姫路暁乃里新設工事の入札方法の決定の件 第 3 号議案 次期役員等候補者（案）の件 第 4 号議案 法人所有地の活用について 第 5 号議案 定時評議員の招集の件 報告事項 理事長職務執行状況について - 姫路暁乃里新設計画について - 就業規則（賃金規程）の変更について - 姫路暁乃里運営規定の変更について	理事 服部、田中、川添、濱西、三木（5 名） 監事 内海（1 名）
令和 7 年 6 月 21 日 10:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第 1 号議案 理事長選任の件	理事 服部、田中、益田、川添、濱西、三木（6 名） 監事 内海、笠原（2 名）
令和 7 年 7 月 26 日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第 1 号議案 姫路暁乃里新設計画に関する入札参加者名簿（案）の件 第 2 号議案 姫路暁乃里新設計画に係る入札日変更の件 第 3 号議案 姫路暁乃里新設計画に伴う借入及び担保提供の件 報告事項 理事長職務執行状況について - 理事会等開催日程について - 姫路暁乃里新設計画について - 令和 8 年度以降社会福祉施設等整備計画について	理事 服部、益田、灘、森本、村上（5 名） 監事 笠原、田中（2 名）
令和 7 年 8 月 23 日 18:00～ 太陽の郷	決議事項 第 1 号議案 姫路暁乃里新設計画に関する予定価格の件 第 2 号議案 姫路暁乃里新設計画に伴う借入の件 報告事項 理事長職務執行状況について 特になし	理事 服部、益田、川添、灘、村上、森本（6 名） 監事 笠原、田中（2 名）
令和 7 年 9 月 1 日 17:30～ リモート会議	決議事項 第 1 号議案 姫路暁乃里新設計画に係る再入札公告文（案）の件 報告事項	理事 服部、益田、川添、灘、森本、村上（6 名） 監事

	理事長の職務執行状況について - 金融機関からの借入について - 今後の理事会日程について	笠原、田中（2名）
令和7年9月9日 17:30～ リモート会議	決議事項 第1号議案 姫路暁乃里新設計画に関する入札参加者名簿（案）の件 第2号議案 奨学金返済支援制度規程変更の件 報告事項 理事長の職務執行状況について - 金融機関からの借入について - 今後の理事会日程について	理事 服部、川添、灘、村上、森本（5名） 監事 笠原、田中（2名）
令和7年9月26日 17:30～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 姫路暁乃里新設計画に係る予定価格決定の件 第2号議案 姫路暁乃里新設計画に伴う借入金金融機関選定及び担保提供の件 第3号議案 臨時評議員会の招集の件 報告事項 理事長の職務執行状況について 今後の理事会日程について	理事 服部、益田、川添、灘、森本、村上（6名） 監事 笠原、田中（2名）
令和7年10月12日 10:00～ 川飛	決議事項 第1号議案 姫路暁乃里新設計画に係る工事請負契約締結の件 第2号議案 姫路暁乃里新設計画に伴う民間金融機関への担保提供の件 報告事項 理事長の職務執行状況について 姫路暁乃里新設計画の今後のスケジュールについて	理事 服部、益田、灘、村上（4名） 監事 笠原（1名）
令和8年1月31日 10:00～ 日航ホテル姫路	決議事項 第1号議案 姫路暁乃里新設計画に係る工事請負契約の件 報告事項 理事長の職務執行状況について 今後のスケジュールについて	理事 服部、益田、川添、灘、村上、森本（6名） 監事 笠原、田中（2名）
令和8年3月21日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 第2号議案 役員賠償責任保険の件 第3号議案 障害者施設総合補償制度の件 第4号議案 就業規則変更の件 第5号議案 臨時評議員会の招集の件 報告事項 理事長の職務執行状況について - 令和8年度以降の組織体制について - 姫路暁乃里新設計画について - 奨学金返済支援事業補助金について - 食事サービス提供業務委託契約内容改定について - 地域連携推進会議について - 太陽の郷の過誤返還について - 土地貸借契約書について - 職員採用・退職状況について	理事 服部、益田、川添、灘、森本、村上（6名） 監事 笠原、田中（2名）

2. 事業内容

第一種社会福祉事業

- | | | |
|-----------------|--------|---------|
| ● 障害者支援施設 姫路暁乃里 | 生活介護 | 定員 38 名 |
| | 施設入所支援 | 定員 30 名 |

第二種社会福祉事業

- | | | |
|---------------------|-----------------|---------|
| ● 障害福祉サービス事業 姫路暁乃里 | 短期入所 | 定員 4 名 |
| | 日中一時支援 | 定員 4 名 |
| ● 障害福祉サービス事業 太陽の郷 | 生活介護 | 定員 20 名 |
| | 就労継続支援 B 型 | 定員 15 名 |
| ● 障害福祉サービス事業 チャレンジ | 共同生活援助事業 | 定員 11 名 |
| | 短期入所（空床型） | |
| ● 相談支援事業 ふらっと | 一般・指定・障害児相談支援事業 | |
| ● 障害児通所支援事業 オリオンあなせ | 放課後等デイサービス | 定員 20 名 |
| ● 地域相談窓口 東部ひめりんく | | |

3. 主な取り組むと成果

(1) 地域生活支援拠点としての機能強化

① 医療・介護との連携強化

地域相談窓口「東部ひめりんく」を中心に、医療・介護・行政との連携を深化させ、切れ目のない支援体制の構築を進めた。

② 障害者支援施設の支援力向上

強度行動障害スーパーバイザー（SV）を中心に、事例検討会・OJTを実施し、法人全体の専門性向上を図った。

(2) 職員育成と組織基盤強化

① 新人事給与制度の準備開始

令和9年度の導入に向け、役割整理・キャリアパスの明確化、評価制度の見直し、ICTを活用した管理体制の整備を進めた。

② 専門研修・OJTの充実

- ・強度行動障害支援に関する研修の実施
- ・階層別研修の準備
- ・実践報告会の開催準備 など、学びの共有と専門性向上に向けた取り組みを推進した。

(3) 利用者の人権擁護・虐待防止体制の強化

- ・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を毎月実施
- ・新入職員研修および法人研修（5月・10月）を実施
- ・全職員への周知徹底を図り、組織としての意識向上に努めた。

(4) 新たな事業領域の開拓と施設整備

① 姫路暁乃里新設計画の準備

令和7年12月着工の新棟について、令和8年1月の竣工・運用開始に向けた準備を進めた。

② 既存棟の大規模改修計画の具体化

令和10年度の完全個室化を目指し、改修計画の検討を進めた。

③ 放課後等デイサービスの専門性強化

自閉症・発達障害児への専門的療育体制の構築を進め、質の高い支援提供を目指した。

④ 地域相談窓口「東部ひめりんく」の継続

最終年度の更新に向け、必要なスキル向上と体制整備を行い、相談支援機能の維持・強化に努めた。

(5) 経営基盤の強化

① 経常増減差額比率 3 %以上の確保を目標にモニタリングを継続

財務状況の安定化に向け、継続的な分析と改善を行った。

② ICT 活用による業務効率化を推進

記録・情報共有・管理業務の効率化を図り、職員の負担軽減と業務品質の向上につなげた。

③ 新棟建設・大規模改修に向けた資金計画を実行

将来を見据えた持続可能な経営基盤の確立に向け、計画的な資金運用を進めた。

(6) 地域支援事業

① 集中的支援の実施

兵庫県で 2 件、姫路市で 1 件、計 3 件の集中的支援に職員 2 名を派遣し、コンサルテーションを実施した。標準的な支援の普及と地域全体の支援力向上に寄与した。

② 講師・ファシリテーター派遣実績

兵庫県強度行動障害支援者養成研修、兵庫県サービス管理責任者研修・児童発達支援管理責任者研修、講演会での発表等、年間 16 日 24 回の派遣を行い、地域福祉の発展に貢献した。

指定障害者施設 姫路暁乃里（生活介護・施設入所支援）

事業計画に重点目標として掲げていた下記の内容については、概ね実行して達成もしくは継続している。

「強度行動障害・重度障害者への支援技術の向上」

- 重度障害のある利用者および強度行動障害の状態にある利用者への支援技術向上を目的として、北摂杉の子会 人材育成研修室 堀内SVを招き、2か月に1回の事例検討会を継続して実施し、助言と指導を受けた。事例検討会の積み重ねにより、支援方策を含めて得られた知識は参加していない職員にも広がっており、個々の特性をアセスメントして環境要因を調整していく「標準的な支援」が、多くの利用者への支援および日常生活の中で定着できた。また、広域的支援人材については、法人内で2名(内姫路暁乃里から1名)がスーパーバイザーとして兵庫県より認定を受け、集中的支援の申請のあった姫路・加古川・明石の事業所において助言・指導を実施した(令和8年度も継続)。また令和8年度には新たに法人内で2名(内姫路暁乃里から1名)がスーパーバイザーを目指し、強度行動障害SV養成事業のインターン生として参画できるよう調整した。中核的人材についても職員1名が研修プログラムを修了し、令和8年度より中核的人材として法人内での助言と指導を行い、更なる支援技術の向上を図るための準備を行った。

「人材(育成・教育・確保)、働き方改革」

- 人材確保について、令和7年度は法人内において卒業時点で社会福祉士の国家資格を有した学生2名の新卒採用に繋がった(内1名は姫路暁乃里)。人材紹介会社の活用等による積極的な採用活動を継続した。退職後に再雇用となった職員や、実習からアルバイト採用、送迎・清掃専門の職員の確保も進み、多職種配置による現場体制の安定化と支援力の向上に繋がった。働き方改革において、担当業務やケース入力をはじめとした事務時間の確保と、支援の根幹となるスケジュール等の視覚情報を用いたツールの作成時間やアセスメントの実施に必要な時間を確保できる体制整備を進めた。その結果、業務の効率化が図られ、職員の事務負担の軽減および支援業務に集中できる職場環境につながり、令和7年度は正規職員の退職者0名を達成できた。

「虐待防止・権利擁護の取り組み、意思決定支援」

- 利用者本人の意思決定支援を基本とし、本人の思いを大切にしたい支援に取り組んだ。特に、言葉での意思表示が難しい利用者については、一人ひとりの特性や日々の生活の様子のアセスメントを行い、必要に応じてコミュニケーションを補助するためのツールの作成・活用しながら、思いを伝えやすい環境づくりに努めた。支援の方法やツールの活用状況については利用者ごとに違いがあり、すべての方に同じように実施できているわけではないが、今後も本人が意思表出できるよう、仕組み作りを始めとした取り組みを継続する。また地域移行に関する意向については、個別支援会議の場において定期的に確認を実施した。一方で、具体的な生活の場や日中活動の変化について、実際のイメージを持ってもらうための情報提供や、見学・体験などを通じた知見や経験の機会については十分とは言えない状況である。さらに、地域との連携強化およびサービスの透明性向上を目的として、地域連携推進会議を実施し、構成員による施設訪問の機会を設けることで、実際の支援状況や環境について理解を深めてもらう取り組みを進めた。権利擁護および虐待防止の取組については、職員研修の定期的な実施や虐待防止委員会を中心とした支援の振り返り・課題共有を通じて、支援に関する基本的な考え方や不適切支援の防止について理解の促進と意識向上に取り組んだ。特に、強度行動障害のある利用者への支援を重要な視点として位置づけ、行動の背景要因の理解や環境調整、適切な支援方法の検討を行いながら、安心・安全な支援の提供に努めた。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
給食担当職員検便（月 1 回） 身体測定（利用者・月 1 回） 検温・血圧測定（利用者・随時） 健康診断（利用者年 1 回、職員年 2 回） エアコン、網戸清掃（年 3 回） 窓、換気扇、ベランダ、乾燥機清掃（毎月第 4 土曜日） 床清掃、タンス整理（週 1 回）	介護給付費（施設入所支援、生活介護、短期入所）請求 地域生活支援給付費（日中短期入所）請求 本部・施設会計試算表 預金・小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 職員の労務管理 年末調整関係業務 利用者負担金請求 振替 障害者年金振込確認（偶数月） 介護給付費等支給申請書 兼 利用者負担額減額・免除等申請書提出 利用者市民税・県民税申請書提出 利用者国民健康保険料・簡易所得申告書提出 利用者小遣い 利用者預かり金確認報告（年 4 回）

施設設備管理業務

点検箇所等	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 機器点検	未来テクノ(株)
フリーロックシステム	保守点検（年 1 回）	(株)JEI
昇降機	定期点検（年 4 回）	(株)日立ビルシステム
自家用電気設備点検	定期点検（隔月）	(一財)関西電気保安協会
貯水槽洗浄消毒・水質検査	定期清掃	(株)姫路洗管
雑排水洗管作業（全館）	清掃（年 1 回）	
洗管作業（ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ）	定期清掃（年 4 回）	
浄化槽	保守点検（毎月 2 回） 汚泥引抜	(株)アクアプラス
水質検査	検査（年 1 回）	(一社)兵庫県水質保全センター
床・トイレ等 ベランダ・エアコン等	清掃（平日及び土曜、祝日）	フロンティア
	洗浄・清掃（定期的）	
害虫駆除	ゴキブリ駆除（厨房内） ゴキブリ駆除 （1 階フロア・倉庫・トイレ） 定期点検（厨房内）毎月月末に実施	エース消毒（株）
利用者大掃除	清掃（12 月）	利用者、職員
マット交換 マット交換（トイレ前のみ）	交換（4 週間に 1 回） 交換（2 週間に 1 回）	(株)ユニマットライフ

行事等実施報告

季節に応じた事業所内行事に加え、個別での外出を多く実施することで個々のニーズに対応しつつ、自己選択の機会を増やすことや経験を積むことに繋げていった。今まであまり出掛けることが無かったカラオケやボーリング、指圧等、身近で気軽に楽しめる場所やリラクゼーションに繋がる外出も取り入れていった。日帰り旅行は年々利用者の身体機能の低下が見られるため、行先が限られてしまう中、非日常を体験できて楽しめるように職員が様々な場所やイベント等の情報収集をして最善のプランを提供した。定期行事として太鼓教室・音楽療法・高谷さん音楽については継続して実施した。

定例行事

内容	日時
アルミ缶回収	毎週木曜日 午前
真砂園パン購入	毎週水曜日 午後
太鼓教室	第2金曜日 第4土曜日 午前
音楽療法	第1・3金曜日 午前
高谷さん音楽	第2・3・4水曜日 午前

1. イベント行事

期日	行事内容	場所	担当者
4月4日	観桜会	市ノ池公園	香山・木津
4月16日	希望外出	ダイソー・しまむら・リバーシティー	川添
4月18日	希望外出	マックスバリュ・パレット・ダイソー・姫路リバーシティー・マクドナルド	川田
4月20日	希望外出	アクリエひめじ中ホール・ごちそう村	森本
4月21日	希望外出	姫路リバーシティー・しまむら	香山・川口
4月22日	希望外出	そよ美容室・くら寿司	児島
4月28日	希望外出	しまむら・洋食のオオニシ	児島
4月30日	希望外出	そよ美容室	川添
5月8日	希望外出	姫路科学館・ガスト	西村
5月9日	希望外出	神戸シーワールド	内藤
5月22日	希望外出	ダイソー・しまむら・サイゼリヤ・マックスバリュ	川添
5月22日	クッキング	姫路暁乃里	香山・木津・川口
5月23日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
5月27日	希望外出	マクドナルド・ダイソー	児島
5月30日	ばんたん親善運動会	加古川運動公園陸上競技場	西村
6月3日	希望外出	姫路市立手柄山温室植物園・天下一品	濱田・好岡
6月5日	希望外出	御座候 あずきミュージアム	橋本
6月13日	希望外出	マッサージ 喜楽堂	宮元
6月13日	希望外出	姫路リバーシティー・GU・かつ処	竹下・西森
6月23日	希望外出	マックスバリュ・パレット・姫路リバーシティー・餃子の王将	川田
6月24日	希望外出	ヨーデルの森	川添・上田

6月26日	希望外出	別所食堂・ダイソー	児島
6月27日	希望外出	昭和レトロ情景館・旧中川邸	香山・井上
7月3日	希望外出	姫路リバーシティー	香山
7月4日	希望外出	ラウンドワン・マクドナルド	西村・日外
7月7日	七夕	姫路暁乃里	香山
7月8日	希望外出	天然温泉「湯庵」・コメダ珈琲	小林
7月9日	希望外出	辻川山公園・もちむぎのやかた・天然ささがた温泉せせらぎの湯・にゅうにゅう工房	内藤・川口
7月10日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
7月11日	希望外出	シュープラザ・マクドナルド	児島
7月16日	希望外出	そよ美容院・力丸・マックスバリュ・姫路市役所・マクドナルド・	川添
7月18日	避難訓練	姫路暁乃里	小林
7月22日	希望外出	ダイソー・しまむら・GU・びっくりドンキー・マルアイ・マクドナルド	川添
7月25日	希望外出	マッサージ 喜楽堂	宮元
7月26日	希望外出	ラウンドワン・インド料理ミラン	西森・木津
7月29日	希望外出	スイーツパラダイス三宮 ヒラタフードフェア 国際展示場	児島・南野
8月18日	希望外出	マックスバリュ・パレット・イオン姫路リバーシティー・餃子の王将	川田
8月26日	希望外出	未来書店・別所食堂	児島
8月27日	希望外出	自然菜園カフェ 遊楽里	橋本・好岡
8月29日	希望外出	日本玩具博物館・Zakka Hina	香山・井上
9月3日	夏祭り	姫路暁乃里	香山
9月5日	希望外出	揖保乃糸資料館そうめんの里	瀧田・大山
9月8日	希望外出	ユニクロ・GU・ボックス・マルアイ・焼肉力	川添
9月9日	希望外出	リオスレインボー・力丸	西森・日外
9月11日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
9月12日	希望外出	深志野共同墓地	内藤
9月22日	希望外出	マックスバリュ・パレット・イオン姫路リバーシティー・餃子の王将	川田
9月24日	希望外出	SHIMAUMA BURGER 淡路 SA	川口
9月26日	日帰り旅行	有馬グランドホテル	香山
9月30日	希望外出	マッサージ 喜楽堂	宮元
10月3日	還暦祝い	姫路暁乃里	木津
10月7日	日帰り旅行	ネスタリゾート神戸・一休庵・共進牧場	西村・内藤・宮元・川口・木津
10月14日	希望外出	的形湊神社（秋祭）	大澤
10月15日	希望外出	的形湊神社（秋祭）	久保田
10月16日	希望外出	そよ美容院・しまむら・リバーシティー・未来屋書店	川添
10月23日	希望外出	姫路動物園・かごの屋	橋本・南野

10月24日	希望外出	マックスバリュ・パレット・ドンキホーテ・餃子の王将	川田
10月28日	希望外出	姫路セントラルパーク	西森・児島
10月31日	ハロウィン	姫路暁乃里	香山
11月4日	日帰り旅行	じゃのひれドルフィンファーム・うずしおクルーズ 道の駅福良	久保田・西森・川添・木津
11月5日	希望外出	ラウンドワン・ガスト	西村
11月6日	希望外出	開放空間 ゆめまきば 六甲山牧場	内藤
11月11日	希望外出	夢乃蕎麦・御立公園	児島
11月13日	希望外出	そよ美容院・ガスト	川口
11月13日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
11月14日	希望外出	リバーシティー・ユニクロ・GU・マクドナルド・マルアイ	川添
11月16日	希望外出	姫路リバーシティー・ガスト・コスモス	川添
11月18日	希望外出	ヨーデルの森	川田・前田
12月7日	地域清掃	的形 仮屋地区	大澤
12月8日	希望外出	道の駅みつ	木津・内藤
12月9日	希望外出	国見の森公園	南野・足立
12月10日	希望外出	しまむら・セリア	川添
12月16日	希望外出	ラウンドワン・サイゼリア・イオンモールリバーシティー	小林・南野
12月18日	希望外出	木曽路	吉識
12月18日	希望外出	マックスバリュ・パレット・イオン姫路リバーシティー・餃子の大将	川田
12月24日	クリスマス会	姫路暁乃里	香山
1月8日	希望外出	南京町	濱田・竹下・ガー
1月9日	希望外出	揖保乃糸資料館 そうめんの里	内藤
1月16日	希望外出	天然かさがた温泉・せせらぎの湯	橋本
1月20日	希望外出	しまむら・イオンモール姫路大津	児島
1月21日	希望外出	リバーシティー・マクドナルド・コスモス・マルアイ	川添
1月22日	希望外出	マルアイ・セブンイレブン・姫路リバーシティー・ガスト・コスモス	川添
1月23日	希望外出	須磨シーワールド	川田・川口
1月30日	希望外出	そよ美容院	川添
1月30日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
2月2日	節分	姫路暁乃里	香山
2月4日	希望外出	そよ美容院・しまむら・くら寿司・キャンドゥ・マックスバリュ	川添
2月9日	希望外出	関電コラボアート グランフロント大阪	濱田
2月13日	バレンタインクッキング	姫路暁乃里	香山・木津
2月17日	希望外出	姫路市立動物園・食菜家うさぎ	神川
2月24日	希望外出	ホームランドーム・ガスト・ドンキホーテ	香山・西森

2月26日	日帰り旅行	うずの丘鳴門橋記念館・グリナリウム淡路島・淡路SA	川田・濱田・川添京・南野
3月5日	希望外出	靴のヒラキ・ガスト	川口
3月11日	希望外出	コスモス・GU・ユニクロ・ガスト・ダイソー・スターバックス	川添
3月12日	希望外出	あずきミュージアム	橋本・前田
3月15日	希望外出	表彰式	森本
3月16日	希望外出	一番星・ダイレックス・力丸	久保田
3月25日	日帰り旅行	三田屋本店・めんたいパーク	児島・久保田
3月25日	避難訓練	姫路暁乃里	小林
3月27日	希望外出	神戸どうぶつ王国	内藤

職員研修報告

1. 施設外研修

施設外研修では、強度行動障害の方への専門的な支援方法や医療分野まで幅広い範囲の研修に参加しており、各職員が専門的な知識の獲得、スキルアップを図ることで施設のサービス向上に繋がっている。また様々な研修を通して、他事業所の職員と意見交換の場を作ることによってネットワークの拡大と支援の質の向上に取り組んでいる。施設内研修でも、職員を少数ずつのチームに分け、チーム毎に自身で学習した事を職員会議の場で発表する機会を設けることで、施設内全体のスキルアップに繋がっている。また年2回の避難訓練、年1回以上のAED研修を行うことで緊急時の対策も行っている。

期日	研修名	場所	参加者
4月23日	「脳梗塞」について学ぼう	姫路市医師会館	宮元・吉中
5月20日	看取りのシミュレーション研修会	社会医療法人財団聖フランシスコ会姫路メディカルシミュレーションセンター	右田・吉識
5月26日	フォローアップ研修	兵庫県福祉人材研修センター	香山
6月15日	社会福祉法人理事・評議員研修	姫路暁乃里 オンライン	森本
6月19日	初任者研修会	明石市立市民会館	竹下
6月24日	福祉従事者新任職員研修会	兵庫県福祉人材研修センター	川口
6月26日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告会	姫路暁乃里 オンライン	森本・西村・好岡・大山
6月26～27日 7月17～18日	兵庫県高次脳機能障害支援者養成研修（基礎） 兵庫県高次脳機能障害支援者養成研修（実践）	兵庫県立リハビリテーションセンター	宮元
8月22日	社会福祉施設職員感染症対策研修（障害・高齢者施設管理者）	姫路暁乃里 オンライン	久保田
8月27日	播淡地区施設長・職員合同研修会	姫路暁乃里 オンライン	森本
8月29日	播淡地区職員研修会『思い込みを想いなおそう』	姫路市安田3丁目1番地	木津
9月6日	認知症予防講演会	龍野経済交流センター	宮元・木津

9月8日	兵庫 DWAT 養成基礎研修・DWAT 登録に係る説明会	アクリエ姫路	宮元・大澤
9月10日	新任職員研修会	姫路市立総合スポーツ会館	南野
9月12日	8 法人ジョイントセミナー2025	高槻市生涯学習センター	平
9月24日	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	兵庫県福祉センター	右田
9月29日	社会福祉施設職員研修 感染症対策研修	路暁乃里 オンライン	西森
10月1日	情報アップデート DAY2025	TKP ガーデンシティ仙台	森本
10月6日	姫路市社会福祉施設協議会 DWAT 登録に係る説明会	姫路市総合福祉会館	宮元
10月8日	強度行動障害ブラッシュアップ研修	社会福祉法人明桜会 木の根学園 2 階研修ホール	濱田
10月18日	第 1 回地域で支える医療的ケア児等支援者研修会	姫路聖マリア病院ダホール館	宮元・右田
10月27日	社会福祉施設職員感染症対策研修会（専門職者研修）	姫路市市役所北別館	宮元
11月5日	『あ・そ・ぼ』～学びは遊びから始まる～	姫路大学	香山
11月15日	軽度認知障害（MCI）を知ろう ～認知症を正しく理解し早期発見につなげよう～	姫路暁乃里 オンライン	木津
11月21日	姫路市障害福祉サービス実践研究会 2025	姫路市総合福祉会館	吉中・右田
11月22日	第 2 回地域で支える医療的ケア児等支援者研修会	姫路聖マリア病院ダホール館	宮元・右田
11月28日	第 2 回精神保健福祉支援者研修会 「日ごろの支援で困っていることを講師に聞いてみよう！～精神疾患への理解を深めてより良い支援に活かす～」	姫路市総合福祉会館	吉中
11月29日	神戸大学医学部附属病院 てんかんセンター 市民公開講座	姫路暁乃里 オンライン	西村
12月20日	市民公開講座 最後まで自分らしく！終活のススメ 人生会議ってなに？～人生のさいごまで自分らしく過ごすために大切なこと～	姫路聖マリア病院ダホール館	吉中
1月9日	外国人介護職員の円滑な受け入れのためのセミナー	姫路暁乃里 オンライン	平
1月10日	強度行動障害 アセスメント研修 「TTAP を支援に活かすために」	兵庫県福祉センター	久保田・香山
1月15日	姫路市社会福祉施設協議会（ほっとかへんネットひめじ）東エリア交流会	社会福祉法人 八葉福祉会 津田このみ学園 今在家分園	宮元・川口
1月24日	被災者心理と支援者心理の基礎理解編	三ノ宮センタープラザ	森本・大澤
1月28日	「アンケート結果からみる老人福祉施設の看取りと DNAR プロトコル：現状と課題」 「当院での救急の現場での現状」	姫路暁乃里 オンライン	宮元・吉中
2月14日	第 3 回地域で支える医療的ケア児等支援者研修会	姫路聖マリア病院ダホール館	宮元・右田
2月14日	知的障害者インクルージョン実践セミナー 2026 海外の実践に学ぶ、支援の考え方と手法「知的障害者の社会参加について」	姫路暁乃里 オンライン	香山

2月14日	私らしく生きる～ありのままを受け入れて～	姫路暁乃里 オンライン	川田・足立・井上
2月17日	兵庫 DWAT 養成（基礎）研修	姫路市総合福祉会館	久保田
2月26日	近畿地区知的障害者関係施設職員研修	奈良ロイヤルホテル	大澤・内藤
3月2日	第3回グループホーム研修会 「訪問介護の役割について知る」	姫路市総合福祉会館	吉識
3月6日	強度行動障害者支援充実のための実践報告会	姫路暁乃里 オンライン	小林
3月6日	認知症と人生会議～自分らしく生きるために将来を語り合う～	たつの市はつらつセンター	宮元・木津、香山
3月14日	第2回地域で支える医療的ケア児等支援者研修会（医療支援者対象）	姫路聖マリア病院ダホール館	宮元・右田
3月17日	強度行動障害スーパーバイザー養成事業 実践報告会	兵庫県福祉センター	橋本

2. 施設内研修

期日	内容	参加者
4月14日	事業計画・事故報告・火災報知機の止め方・個別ケース	職員
5月19日	統合失調症チーム勉強会・新規利用者実習について・個別ケース	職員
6月17日	P E C S 勉強会・短期入所の荷物管理・個別支援会議・個別ケース	職員
7月18日	避難訓練	職員・利用者
7月23日	P T による勉強会・食事提供方法	職員
8月22日	食事提供方法・個別ケース	職員
9月19日	食事箋システム・業務マニュアル・業務改善・食事提供方法	職員
10月17日	業務マニュアル・電話対応・ベルトパーテーション・記録とティータイム	職員
11月27日	てんかん勉強会・水頭症勉強会・記録	職員
12月22日	虐待、権利擁護勉強会・サビ管より	職員
1月13日	陽気会よろこび荘大谷氏による講演（チーム支援と人材育成）	職員
2月19日	A E D 勉強会・個別支援会議・4月以降の生活介護	職員
3月24日	次年度の人事と計画・厨房からの依頼・次年度事業計画・個別ケース	職員
3月25日	避難訓練	職員・利用者

実習生受入報告

大学・短大からの依頼に対して積極的に受け入れを行ったが、昨年度と比較して依頼が少なく、6名の実習生受入れと減少した。福祉の担い手の減少と慢性的な人手不足で一般企業に行く学生が増えた等が原因として考えられる。実習の中で福祉専門職のやりがい、障害福祉の意義や社会的役割を学んでもらい、実際の個別支援（構造化やコミュニケーション支援等）を体験してもらうことで、実習最終日のレクリエーションでは、一人ひとりに合わせた内容や実習の中で学んだ視覚的な掲示物や関わり方を活用し、レクリエーションに臨んでいる学生もいた。実習を通して障害福祉に興味を持つ学生も多く、実習後にアルバイト雇用として働いており、人材確保にも繋がっている。また職員が学生に対して指導を行うという経験を通して職員のスキルアップ、モチベーションの向上にも繋がっている。来年度完成予定の新設棟に実習生の宿泊部屋も準備し、より一層受け入れ体制を整え、福祉専門職を知ってもらうきっかけを法人として仕掛けていく。

学校名	期間	人数
関西福祉大学 教育学部	令和7年8月4日～8月15日 (10日間)	計2名
夙川学院 神戸教育短期大学 こども学科	令和7年9月16日～9月30日 (10日間)	計1名
神戸常盤大学 こども教育学部	令和8年2月16日～2月28日 (10日間)	計1名
姫路大学 教育学部 こども未来学科	令和8年2月16日～2月28日 (内1名は事情により振替を実施した為、終了日のズレあり) (10日間)	計2名
合計		6名

資格取得者

資格取得	人数(総取得者数)
社会福祉士	(1)
介護福祉士	(14)
保育士	(6)
社会福祉主事	(3)
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	(8)
強度行動障害支援者養成研修(実践)	(8)
知的障害援助専門員	(1)
喀痰吸引等研修終了	(2)
行動援護従事者養成研修	(9)
第一種衛生管理責任者	1(2)

※令和8年3月31日現在

姫路暁乃里(施設入所・生活介護)日課

身体機能や生活能力の向上を目的として、障害特性やニーズに合わせた個別支援を行った。利用者の高齢化、重度化が進んでいる中、その人らしく豊かで安心な生活を営むことができるよう、生活空間についても必要に応じた視覚的な空間の整理など、環境調整を行った。日中活動では意欲の向上と健康維持を目的として、活動選択手段の確立と内容の工夫、また理学療法士によるリハビリテーションを実施した。

時間	平日	休日
6:30	起床、整容	起床、整容
7:45	朝食準備	朝食準備
8:00 ～ 9:15	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード選択 ラジオ体操 館内ランニング	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード選択 ラジオ体操 館内ランニング
9:30	引継ぎ	引継ぎ
10:00	作業 機能訓練 習字・編み物	余暇

～ 11:30	メイク・ネイル 散歩 オミビスタ リハビリ シーツ交換 認知症予防プログラム 高谷さん音楽（第1・2・4水曜日） 缶回収（木曜日）音楽療法（第1・3金曜日） 太鼓教室（第2金曜日）	ドライブ カラオケ リハビリ 居室整理 衛生チェック 太鼓教室（第4土曜日）
12:00	昼食 歯磨き	昼食 歯磨き
13:00 ～	バイタル測定 真砂園パン（水曜日） 女性利用者入浴 男性利用者入浴	バイタル測定 余暇 女性利用者入浴 男性利用者入浴
16:00	引継ぎ 余暇	引継ぎ 余暇
18:00	夕食 歯磨き	夕食 歯磨き
20:00 ～ 22:00	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室

利用者状況

（令和8年3月31日現在）

【入所】年齢別利用者数

年齢（歳）	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計（人）
男性	0	1	3	9	1	1	0	15
女性	0	0	2	4	5	2	1	14
合計	0	1	5	13	6	3	1	29

【入所】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	26歳11ヶ月	34歳
最高年齢	67歳5ヶ月	78歳3ヶ月
平均年齢	43歳	52歳5ヶ月
男女平均年齢	47歳7ヶ月	

【生活介護】年齢別利用者数

（令和8年3月31日現在）

年齢（歳）	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計（人）
男性	0	2	4	10	1	1	0	18
女性	0	2	2	6	6	2	1	19
合計	0	4	6	16	7	3	1	37

【生活介護】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	24歳5ヶ月	24歳5ヶ月
最高年齢	67歳5ヶ月	78歳3ヶ月
平均年齢	41歳6か月	49歳7ヶ月

男女平均年齢	45 歳 9 ヶ月
--------	-----------

【生活介護】障害支援区分

障害支援区分	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	2	12	23	37

令和7年度平均障害支援区分：5.5

医療機関受診状況

通院件数は前年度の 700 件から 574 件へと大幅に減少した。インフルエンザやコロナウイルス感染症については職員・利用者ともに数名の感染が確認されたものの、施設内での感染症対策の徹底や、コロナウイルス治療薬の活用により感染拡大を最小限に抑えることができた。また職員との密な情報共有を行うことで、症状が重症化する前に迅速な対応ができたことも要因と考える。

2 月 21 日、施設入所利用者 1 名が逝去された。元々県外のグループホームに入所されていたが、大腸癌末期により余命半年と宣告されたことを受け、ご家族の居住地である姫路へ戻られた。しかし、在宅での生活が困難で姫路市の依頼で緊急短期入所にて受け入れを行い、その後は姫路暁乃里の生活介護を利用されていたが、看取りも含めたグループホームまたは施設入所を希望されていたため、当施設へ入所となった。

施設としても看取りを行うことは初めての経験であったため、急変時や看取りを見据え、緩和ケア病棟や地域のかかりつけ医と連携を図りながら対応を行った。終末期という日々状態が変化していく中で、本人が穏やかに最期までその人らしく過ごせる時間を提供できるよう、職員間で支援方法を模索し続けた。本人の状態に合わせた個別対応や看取りケアを実施し、最期はご家族の望む形で看取りを行うことができた。

今回の経験を通して、人生の最終段階において、本人・家族の思いに寄り添いながら、住み慣れた環境で安心して過ごせる支援の大切さを改めて認識した。また、看取りという貴重な時間に施設全体で向き合い、その経験を共有できたことは、施設・職員にとっても大変意義のあるものであった。

今後も年 1 回の健康診断及び月 1 回の嘱託医による往診を通し利用者の健康状態を適切に把握し、異常の早期発見や緊急時に迅速かつ適切な対応が行えるよう、医療職を中心に施設全体で知識・技術の取得・向上に努めていく。

通院状況

科目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（人）
内 科	1	6	2	0	1	7	4	10	4	3	8	3	49
外 科	1	2	4	1	4	1	1	0	1	0	1	1	17
整 形 外 科	2	3	5	0	1	3	0	0	0	1	3	1	19
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循 環 器 内 科	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
脳 外 科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	5
皮 膚 科	0	2	0	2	0	0	3	4	3	2	0	2	18
歯 科	8	9	17	8	14	17	11	11	10	9	13	12	139
婦 人 科	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4
消化器胃腸科	0	2	1	2	0	2	0	2	0	2	0	2	13
精 神 科	9	9	10	10	9	10	9	11	17	11	8	16	129
眼 科	3	4	2	5	4	5	3	3	4	6	4	4	47
呼 吸 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
神 経 内 科	3	6	5	7	3	7	4	10	4	8	4	10	71
耳 鼻 咽 喉 科	10	1	1	0	0	0	0	1	9	3	2	2	29
予 防 接 種	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	27
緩 和 ケ ア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	38	44	47	37	37	54	65	53	54	47	45	53	574

入院状況

医療機関名	人数（病名）	期間
姫路聖マリア病院	1名（大腸がん）	令和7年12月5日～12月17日

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所（嘱託医）	てんかん診療・小児科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
けい整形外科クリニック （嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100
山本歯科医院	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966

利用医療機関

医療機関名（50 音順）	診療科	所在地	電話
安積外科胃腸科医院	外科・消化器外科・内 科・肛門外科	姫路市砥堀 45-1	079-264-1155
石川病院	総合病院	姫路市別所町別所 2 丁目 150	079-252-5235
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
井野病院	耳鼻咽喉科	姫路市大塩町汐咲 1 丁目 27	079-254-5553
揖保川病院	精神科	たつの市揖保川町半田 703 番地 1	0791-72-3050
魚橋病院	精神科	相生市若狭野町若狭野 235-26	0791-28-1395
おおはら眼科	眼科	姫路市御国野町国分寺 800-5	079-251-8600
尾上眼科	眼科	姫路市元塩町 142-1	079-223-0559
姫路市歯科医師会口腔センター	歯科	姫路市安田 3 丁目 107	079-288-5896
じむらクリニック	耳鼻科	姫路市阿保甲 53-1	079-221-7307
高砂市民病院	総合病院	高砂市荒井町紙町 33-1	0794-42-3981

寺田内科呼吸器科医院	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
兵庫県立はりま姫路 総合医療センター	総合病院	姫路市神屋町 3 丁目 264 番地	079-289-5080
兵庫県立がんセンター	総合病院	明石市北王子町 13-70	078-929-1151

事故・ヒヤリハット

事故報告 67 件→50 件、ヒヤリハット 11 件→10 件でどちらも減少している。なかでも、薬にまつわる事故が大幅に減少して薬の取り扱いや服薬方法、ダブルチェックなどへの意識が高くなってきた結果と考える。引き続き薬関係の事故 0 件へ向けて、職員全体へ周知していく。ただ、昨年 0 件であった誤嚥が 3 件発生している。その場で迅速な対応・処置で救急搬送までは至らなかったが、利用者の高齢化に伴い、今後もリスクは高くなっていくことが予測される。食事形態や摂取時の姿勢、落ち着いて摂取できる環境も含め再確認した上で、緊急時対応の手技を訓練していき、万が一に備えていく。

事故内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	14
(他者による) 怪我・転倒	17
誤嚥	3
薬関係 (誤薬・投薬忘れ含む)	9
その他 (発作含む)	7
合計	50

ヒヤリ内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	0
(他者による) 怪我・転倒	1
誤嚥	0
薬関係	7
その他	3
合計	10

苦情の集計件数

苦情に関して報告はあがっていない。権利擁護・虐待防止に関する研修を法人内で繰り返し行い、職員全体に周知している効果と考える。引き続き、丁寧かつ、利用者一人ひとりの意思決定を尊重しつつ対応を行っていく。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

作業種目・内容

作業種目	作業内容
空き缶作業	毎週木曜日、地域の方々のご協力のもと缶を回収した。道中で出会う地域の方との挨拶、地域交流に繋がっている。集めた缶はリサイクル業者に納品した。段ボール、新聞の回収も行っている

作業売上 (単位：円)

月	空き缶作業： 安田商店
4月	0
5月	3,885
6月	1,275
7月	2,520
8月	765
9月	595
10月	1,870
11月	1,360
12月	0
1月	2,040
2月	0
3月	1,700
合計	16,010

余暇活動報告

活動には利用者の生活の質の向上、自己表現の機会提供、社会性の向上、自立支援など多くの意義を持つ。日々の暮らしの中に楽しさや自己選択する場を提供し、一人一人の個性や特性に合った楽しみ方で生活に変化と充実感を感じてもらった。

1. 太鼓教室

目的：大きく身体を動かす和太鼓の演奏は体幹を鍛える効果があり、演奏する中で正しい姿勢が身につく。また力いっぱい叩くことにより、ストレスの解消にもなり、更に脳の活性化やリラックスにも役立つ。

内容：「民謡集団 鯨」様の指導の下、楽しみ方は人それぞれである。毎回十数名が元気いっぱいに太鼓を叩き、個性あふれる音が楽しい雰囲気を作り出している。短時間であるが、集中して叩くこともできている。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第2金曜日 第4土曜日	10時～11時	利用者

2. 音楽療法

目的：音楽の持つ力を利用して心や身体を健康を改善する。感情や記憶に深く関わっており、適切に活用することでストレスを軽減し、リラックスを促す効果がある。心のケアだけでなく、身体的なリハビリテーションにも活用されている。

内容：楽器を演奏したり、歌を歌うことで自己表現や身体機能の改善を図る。また音楽を通して「はじまり」と「終わり」を学ぶことで法則性を身につける事ができる。

講師	教室日	時間	参加者
兵庫県認定音楽療法士会 増井先生・河西先生	毎月第1・3金曜日	10時15分～11時15分	利用者
兵庫県認定音楽療法士会 高谷先生	毎月第1・2・4水曜日	10時15分～11時15分	利用者

障害福祉サービス事業所 太陽の郷（生活介護/就労継続支援 B 型）

事業計画に目標として掲げていた内容において、下記の通り実施した。

- **アートの発信**

展示会開催に向けて、会場選定および作品の選出作業を進めた。複数の候補会場と調整を行ったが、日程や利用条件の都合がつかず、今年度の開催には至らなかった。しかし、展示会に向けた準備過程を通じて、作品の整理や選定基準の明確化、次年度以降の開催に向けた基盤づくりを進めることができた。

- **人材育成・職員定着**

利用者に選ばれる施設づくりを進めるためには、人材育成と職員の定着が不可欠である。今年度は業務マニュアルの整備に取り組み、新任職員が自分の役割を理解し、スムーズに業務へ取り組めるよう、日常業務・支援手順などを整理し、また、マニュアルは現職員にとっても業務の振り返りや見直しの機会となり、役割の明確化や支援の統一化につながった。これにより、職員全体の業務水準の向上が図られた。そういった中、利用者の生活歴や身体状況などを記載したフェイスシートの作成に至り新任職員が利用者の特性を把握するツールとして活用した。

- **強度行動障害のある方への支援の向上**

全体会議において支援方法を検討したところ、職員間で特性理解に対する意識の変化が見られ、視覚的な支援ツールの活用が徐々に増加した。具体的に、全体の予定が一目で把握できる「月間ボード」を作成し、活動の見通しを持ちやすい環境を整えた。また、個々の利用者が1日の流れを理解しやすいよう、個別のスケジュールを導入し、自閉スペクトラム症の特性に合わせた支援が進んだ。さらに、利用者が落ち着いて過ごせる環境づくりの一環として、パーテーションを用いて活動スペースと余暇スペースを分ける環境調整を実施した。これにより、刺激が入りにくくなり、安心して活動に取り組める空間が確保された。これらの取り組みにより、自閉スペクトラム症の特性に応じた支援が組織全体として定着しつつある。

- **一般就労に繋げるための活動**

コミュニケーションの特性の違いから一般就労を挫折した利用者の受け入れを就労継続支援 B 型で、再就職に向けた支援として面談や振り返りの機会を継続的に実施した。評価表を活用し、「基本的なルール」「社会生活」「作業態度」「作業遂行力」の4項目に分けて評価を行うことで、利用者自身が現状を客観的に把握できるよう工夫した。評価の際には、実際のエピソードを交えながら具体的に振り返ることで、利用者にとって新たな気づきが生まれ、自らの課題や強みを明確にする機会となった。その結果、次のステップに向けた目標設定がより具体的になり、本人のモチベーション向上にもつながった。また、面談の中で利用者から聞き取った「一般就労で大変だったこと」や「職場で求められる規律」などの経験談を、他の利用者にも共有した。これにより、一般就労を目指すうえで「働くとは何か」を考える場面が生まれ、就労への意識を高める取り組みとして有意義な時間となった。

- **施設内作業（リサイクル作業、ダイレクトメール作業）**

年間売上額 3,124,611 円 （令和6年度売上額 3,415,542 円）

本年度は、定期的に受託する業務を確実に納品し続けることで、取引先からの信頼を高め、新たな業務の受注につなげることができた。安定した品質と納期遵守を積み重ねたことが、事業拡大の基盤となった。また、各メンバーが自身の苦手な工程を振り返り、練習を重ねるとともに、必要に応じて自助具の改良を行った。その結果、作業効率が向上し、全体として生産ペースの底上げが実現した。これらの取り組みにより、より質の高い完成品を安定して提供できる体制が整った。

- 製造販売作業（お惣菜の店 ごりんや）

年間売上額 9,366,841 円 （令和 6 年度売上額 9,893,741 円）

太陽の郷農園で良質な野菜の生産体制を強化し、ランチメニューや惣菜に安定して使用できるよう取り組みを進めた。玉ねぎ・ジャガイモといった使用頻度の高い野菜に加え、夏季には多品目の夏野菜を収穫し、季節感のあるランチ提供につなげることができた。また、畑の様子や収穫した野菜をInstagramをはじめとする SNS で積極的に発信したことで、ごりんやの取り組みや食材へのこだわりが広く認知されるようになった。その結果、新規来店客が増加傾向にあり、情報発信の効果を実感する一年となった。

- 施設外作業（除草作業、清掃作業）

年間売上額 4,468,480 円 （令和 6 年度売上額 4,876,992 円）

施設外での挨拶や危険認識といった実践的な訓練を取り入れ、社会で求められる基本的なスキルの向上を図った。挨拶の徹底や他者との協力体制の構築を意識した取り組みにより、対人面での成長も見られた。除草作業では、市から委託を受けている大塩海岸をはじめ、市内企業や近隣地域からの依頼にも対応し、地域との関わりをさらに広げることができた。これらの活動を通じて、地域社会に貢献するとともに、利用者が実践的な経験を積む機会の拡大につながった。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
嘱託医往診（利用者・月 1 回） 体重測定（利用者・月 1 回） 血圧測定（利用者・月 1 回） 健康診断（職員・年 1 回）	介護給付費（生活介護、就労継続支援 B 型）請求 本部・施設会計試算表 小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出

施設設備管理業務

点検箇所	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 8/19 機器点検 2/13	安立防災株式会社
昇降機	定期点検 毎月	東芝エレベータ株式会社
浄化槽	毎月	(株) アクアプラス
水質検査	年 2 回	(一社) 兵庫県水質保全センター
食堂衛生管理	毎月	衛生管理株式会社

行事等実施報告

外出の行き先については、まず利用者から「やりたいこと」「行きたい場所」の意見を出してもらうところから始めた。そのうえで、候補となる場所のパンフレットや写真、イラストを準備し、視覚的にわかりやすい形で提示したことで、利用者自身が行きたい場所を選択し、見通しを持って外出に参加することができた。「いつ行くのか」「どこに行くのか」「どの商品にするのか」など、選択できる場면을意図的に増やしたことで、主体的に参加する姿が見られ、より一層楽しんで取り組む様子が確認できた。

定例行事

内容	日時
音楽クラブ	第1、第3金曜日
太鼓クラブ	第3金曜日
絵画クラブ	月2～3回
レッツゴークラブ	月2回

1. イベント行事

期日	行事内容	場所
4月9日	観桜会	桜山公園（姫路市）
5月30日	第37回ばんたん親善運動会	加古川総合運動公園陸上競技場
6月27日	お楽しみ会（クッキング）	太陽の郷 スマイルルーム
8月22日	夏祭り	太陽の郷玄関前、作業場
10月24日	お楽しみ外出	ガスト、レインボー
12月16日	お楽しみ外出	須磨シーワールド
12月19日	忘年会	熟成焼肉いちばん
12月24日	クリスマス忘年会	太陽の郷スマイルルーム
2月28日	お楽しみ会（クッキング）	太陽の郷 食堂
3月10日	お楽しみ外出（1グループ目）	おかしのデパートよしや（淡路市）
3月11日	お楽しみ外出（2グループ目）	おかしのデパートよしや（淡路市）
3月15日	兵庫県障害者芸術・美術工芸作品公募展 表彰式	兵庫県立美術館
3月24日	お楽しみ会	マクドナルド
3月25日	お楽しみ会	Coffret
3月30日	お楽しみ会	神戸どうぶつ王国

職員研修報告

1. 施設外研修

職員の知識や支援に対する意識の向上を図るよう努めた。実践報告会に参加することで、他法人での取り組みを知り、自分たちの支援を振り返り、支援にフィードバックすることが出来た。また、全体会議や終礼時に時間を設け職員間での情報共有にも努めた。

期日	研修名	場所	参加者
6月20日	新任職員研修（姫路市）	姫路市役所 北別館	内田
10月3日	強度行動障害 SV 養成事業ブラッシュアップ研修	兵庫県福祉センター	栗原
11月21日	姫路市実践報告会 2025	姫路総合福祉会館	白井
11月1日 2日	社会福祉士実習指導者講習会（1,2回目）	WEB 研修	栗原
11月26日	社会福祉士実習指導者講習会（3回目）	兵庫県福祉センター	栗原
12月17日	社会福祉士実習指導者講習会（4回目）	兵庫県福祉センター	栗原
1月13日 14日	サービス管理責任者養成研修 実践	WEB 研修	栗原
3月7日	ABA 研修会	姫路総合福祉会館	白井

2. 施設内研修

今年度より生活介護・就労継続支援B型の取り組みを職員が共有して一体感を持って支援にあたっていくため全体会議として実施した。個別対応の必要性や、状況に応じた支援、意思決定等、職員間で検討を進め共有と統一した支援を目指していく上での大切な機会として実施した。

期日	研修内容	内容
4月11日	全体会議	法人理念、虐待防止について
5月9日	全体会議	絵画作品展に向けて、個別支援計画について
6月13日	全体会議	自閉症の理解について・構造化について
6月23日	工賃会議	利用者チェックシートの振り返り、収益について
7月11日	全体会議	虐待防止～人権から考える～
8月8日	全体会議	夏祭りについて、絵画展会場について
9月12日	全体会議	予定表、アンガーマネジメントについて
9月24日	工賃検討会議	利用者チェックシートの振り返り、収益について
10月10日	全体会議	職員間の情報共有について、利用者の活動（余暇）
11月14日	全体会議	施設見学の報告
12月12日	全体会議	マニュアル作成について検討
12月23日	工賃検討会議	利用者チェックシートの振り返り、収益について

2月13日	全体会議	AED 研修
3月24日	工賃検討会	利用者チェックシートの振り返り、収益について

実習生受入報告

令和7年度 実習生受入れ実績なし

資格取得者

令和7年度 新規資格取得者 なし

取得資格	人数(総取得者数)
社会福祉士	(2)
介護福祉士	(2)
保育士	(1)
社会福祉主事	(2)
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	(1)
行動援護従事者養成研修	(7)

太陽の郷(生活介護・就労継続支援B型)日課

生活介護：活動の場を余暇と作業に分けている。集団での活動に加え、個々の特性や興味の違い等を考慮しながら一日のプログラムを考えて提供した。

就労継続支援B型：登所から降所まで、利用者それぞれが自分の動きを理解して行動出来る様な予定表の掲示、個々に作業目標を設定しながら一日のプログラムを考えて提供した。

生活介護	時間	就労継続支援B型
登所	9:00	登所
朝礼・ラジオ体操	9:30	朝礼
作業・活動	9:30	作業
昼食・休憩	11:30 12:00	昼食・休憩
歯磨き	12:40	
作業・活動	13:00	掃除
作業	13:10	作業
掃除・終礼	15:30	振り返り・終礼
降所	16:05	降所

利用者状況

【生活介護】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	1	3	2	7	1	0	14
女性	0	0	2	1	2	1	6
合計	1	3	4	7	3	1	20

【就労継続支援 B 型】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	4	2	4	1	0	11
女性	0	1	0	4	1	0	6
合計	0	5	2	8	2	0	17

利用者平均年齢

	男性全体	女性全体	生活介護	就労継続支援 B 型
最少年齢	19 歳 6 ヶ月	28 歳 4 ヶ月	22 歳 7 ヶ月	19 歳 6 ヶ月
最高年齢	53 歳 2 ヶ月	59 歳 3 ヶ月	59 歳 3 ヶ月	57 歳 9 ヶ月
平均年齢	36 歳 5 ヶ月	45 歳 3 ヶ月	-	-
男女平均年齢	39 歳 6 ヶ月		40 歳 8 ヶ月	38 歳 3 ヶ月

障害支援区分

【生活介護】障害支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	0	1	8	5	6	20

【就労継続支援 B 型】障害支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	1	0	3	8	4	1	0	17

医療機関受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（人）
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
けい整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533

事故・ヒヤリハット

令和7年度、事故が1件、ヒヤリハットが1件あった。職員の思い込みや、職員間の連携が課題に挙げられた。下記のような対応策を考え、改善に努めた。

事故報告

No	事故内容	対応策
1	施設外作業中、建物の一部に頭があたり出血を伴う怪我があった。	建造物等で頭を打つ可能性が考えられる時には帽子ではなく、ヘルメットを着用する。

ヒヤリハット報告

No	ヒヤリハット内容	対応策
1	送迎時、迎え忘れがあり自宅で待機してもらった。	送迎ボード（一覧）の見直し、乗車前にボードの確認を徹底するようにした。

苦情の集計件数

令和7年度の苦情は0件であった。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

【生活介護】作業種目・内容

作業種目	作業内容
株式会社マスキ	箸入れ作業では、箸のナイロン入れを行う。 企業と調整をしながら作業量を確保し提供することで、利用者の作業のペースや正確性も高まり、安定した量を生産していくことが出来、企業からの受注目標を達成していくことが出来た。
井上化成株式会社	ゴムのバリ取り作業では、ゴム製品に付着した不要部分を除去する作業を行っている。作業工程を細分化して実施したことで、これまで作業に携わることが難しかった利用者にも取り組む機会を提供できた。その結果、企業からの受注量も増加している。

【生活介護】作業売上

工賃支給：作業を通じて得た収入から必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給し、利用者個々の能力とモチベーションアップに努めた。

(単位：円)

月	株式会社マスキ	井上化成株式会社
4月	68,400	3,769
5月	63,270	5,742
6月	82,650	2,366
7月	64,220	2,219
8月	63,650	2,014
9月	61,560	2,858
10月	51,870	1,619
11月	96,000	3,044
12月	100,000	1,615
1月	37,620	6,690
2月	83,220	8,632
3月	58,710	15,963
合計	831,170	56,531

【就労継続支援 B 型】作業種目・内容

作業工程の改善や補助具の製作を行い、作業効率の向上を図るとともに、利用者の能力・特性を活かした取り組みにより工賃向上に努めた。作業によって得られた収入は、必要経費を控除した上で工賃として支給した。また、施設内作業だけでなく施設外作業にも積極的に参加し、地域との交流や社会的マナー・一般常識の習得につなげた。

作業種目	内容	受注業者
受託事業	パンフレット封入、梱包等の DM 作業	・ デイリー印刷 ・ 船場印刷
製造・販売事業	仕込み、配達、店舗出向等の作業	・ お惣菜の店「ごりんや」
空缶等回収販売事業	アルミ缶回収、プレス、古雑誌等の納品等の作業	・ 進路工業 ・ 三共スチール ・ 安田商店 ・ 日進興業
公園管理事業	除草、清掃等の施設外就労作業	・ 姫路市役所 ・ 中播磨県民局 ・ ヤマサ蒲鉾 ・ 播備 ・ 西川建材 ・ フロンティア ・ 吉田石材店 ・ 八正寺 ・ 一般家庭からの依頼

【就労継続支援 B 型】過去の平均工賃月額

年度	平均工賃
令和 3 年度	36,064 円
令和 4 年度	35,379 円
令和 5 年度	36,196 円
令和 6 年度	33,273 円
令和 7 年度	32,336 円

【就労継続支援 B 型】作業売上

(単位：円)

月	受託事業	製造・販売事業	公園管理事業	合計
4 月	356,680	804,949	197,580	1,359,209
5 月	90,794	941,954	349,330	1,382,078
6 月	413,850	692,875	588,080	1,694,805
7 月	238,980	790,994	255,880	1,285,854
8 月	261,162	532,632	349,280	1,143,074
9 月	209,000	659,418	633,650	1,502,068
10 月	254,000	869,187	622,380	1,745,567
11 月	296,908	589,440	239,380	1,125,728
12 月	336,225	926,482	210,780	1,473,487

1 月	217,400	800,050	197,580	1,215,030
2 月	272,160	721,180	339,380	1,332,720
3 月	177,452	1,037,680	485,180	1,700,312
合計	3,124,611	9,366,841	4,468,480	16,959,932

クラブ活動報告

令和7年度は、外部講師による「絵画クラブ」「音楽クラブ」「和太鼓クラブ」と、職員が企画・運営する「レッツゴークラブ」の計4クラブを実施した。なお、絵画クラブでは令和8年1月より講師が西ノ原氏から大西氏へ交代し、新体制で活動を継続した。

1. 絵画クラブ

【目的】絵画を通して自分らしい表現を楽しみ、個性を活かした創作活動を育むことを目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
西ノ原 菜於美	月2～3回	10時～12時	利用者
大西 真紀	月1回～2回	10時～12時	利用者

2. 和太鼓クラブ

【目的】和太鼓の演奏を通して、表現する喜びを感じながら、自立心を育て、仲間と協力して取り組む中で責任感と協調性を養うことを目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第3金曜日	13時～15時	利用者

3. 音楽クラブ

【目的】心身のリラックス、表現力を養う事で自分の意思や感情を表せられる様になる事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
磯部 千晶	毎月第1・3金曜日	10時～12時	利用者

4. レッツゴークラブ

【目的】外出活動を通して、自然や景色に触れながら気分転換し、心地よい時間を過ごすことを目的とする。

講師	実施回数	時間	参加者
----	------	----	-----

施設職員	毎月 2 回	10 時～12 時 13 時～15 時	利用者
------	--------	------------------------	-----

共同生活援助 チャレンジ（介護サービス包括型）

令和7年度チャレンジは以下の重点目標を掲げ、利用者一人一人の「家」となるような事業所運営を実施しました。重点目標に対する取り組みと課題は下記の通りです。

● 利用者の権利擁護

【取り組み】

1. 世話人、夜勤者を対象とした虐待防止研修、権利擁護支援研修を実施することで、職員の意識啓発に繋がった。

【課題】

- ・ 権利擁護の基礎知識を得るために、基本的な内容に加え、共同生活援助における内容や事例を組み込む等の資料を作成することが求められると感じた。

● 意思決定支援

【取り組み】

1. 休日の充実や選択肢の幅を拡げるために、買い物等の経験を積んでもらった。また必要に応じて移動支援事業所と連携し希望する余暇の提供のサポートを実施した。

【課題】

- ・ 自身での情報収集や発信が難しい利用者がほとんどであり、事業所側からの多面的な情報提供や、言葉だけではなく視覚的に伝えるといった配慮が不十分であったと感じた。
- ・ 意思を持ち買い物へと向かうが、お金の理解が不十分な場合もあり、外出における練習と体験の必要性を感じた。利用者に応じて、カードでの支払いも検討していく必要がある。

● 健康管理

● 重度・高齢化対応の強化

【取り組み】

1. 利用者の健康状態把握のために、バイタル測定や関わりの中での身体・精神状態の確認を実施した。
2. 法人看護師と連携し、専門的な視点で利用者の心身の状態を確認した。
3. 予約や受診費用の準備などを行い、利用者の単独受診をサポートし自立支援に繋がった。
4. 適切な治療を受けられるよう、受診の付き添いを行い医療機関と連携、情報共有を行った。

【課題】

- ・ 医療等との連携をしていく上で、事業所側としての知識や身体に関する数値や異変に気付くことが出来るだけのものを獲得しておく必要があると感じる。視覚的に確認が出来るものが世話人においてもベストであると考えている。

- ・健康面、重度高齢化に関して、夜間では特に連絡体制と初動の遅れがないように仕組化をしていく必要がある。

● 職員のスキル向上

【取り組み】

1. 「兵庫県障害者グループホーム支援力強化研修（兵庫県委託事業）」への参加と、動画閲覧を実施。

内容は下記の通り。

- ◆本人中心の支援～意思決定支援を中心に～（関西福祉大学：谷口氏）
- ◆障害特性の理解～「障害」の理解と「思い込み」の認識～（武庫川女子大学：與那嶺司氏）
- ◆グループホームに求められる役割（武庫川女子大学：松端克文氏）
- ◆いきいき元気に働くために～ストレスに気付く、ストレスに対処する～
（兵庫県職場研修アドバイザー：高橋美智子氏）

【課題】

- ・基礎知識や、グループホームに求められる役割等を全体で共有または検討する機会を持つことの必要性を感じた。

● 利用者の確保

● 重度・高齢化対応可能なグループホームの新規立ち上げ

【取り組み】

1. 令和7年度は利用者の募集、新規立ち上げは実施しておりません。

【課題】

- ・今後、新規立ち上げを考えていくにあたり、契約内容の見直しも検討していく必要があると考えています。現状、グループホームに入居しているが、月の大半を実家に帰って過ごしている方もいらっしゃいます。必要性や収益面等も考えながらの見直しを実施して進めていきます。

共同生活援助事業所 所在地

名称	住所
チャレンジ大塩	姫路市大塩町 119 番地 2 エルドラド 101 202
ふあむ的形	姫路市的形町の形 1768 番地 27

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1 名

サービス管理責任者	1 名
看護師	1 名(兼務)
生活支援員	5 名
世話人	10 名(兼務含む)
夜勤者	5 名

利用者状況

定員と現員

定 員	現 員		
	男 性	女 性	合 計
12	6	5	11

年齢別利用者数

年齢（歳）	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
人数	0	2	1	2	6	0

利用者平均年齢

	男 性	女 性
最小年齢	25 歳 4 か月	29 歳 3 ヶ月
最高年齢	58 歳 5 か月	60 歳 3 ヶ月
平均年齢	45 歳 6 か月	49 歳 3 ヶ月
男女平均年齢	47 歳 5 か月	

障害支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	平 均
人 数	0	0	6	3	2	0	3.6

療育判定区分

療育判定	B 2	B 1	A
人 数	2	4	5

【一般就労（2 名）】日中活動状況

勤務先	人 数	勤務内容
-----	-----	------

(株) イオンリテール (イオン姫路店)	2	カート回収
----------------------	---	-------

【その他（9名）】日中活動状況

日中活動先	人 数	内 容
あぼしリサイクル事業所（就労継続支援 A 型）	1	分別作業
太陽の郷（生活介護）	2	軽作業等
太陽の郷（就労継続支援 B 型）	3	受託作業、製造販売作業等
福祉作業所ハーモニー（就労継続支援 B 型）	1	軽作業等
就労継続支援 A 型ゆめか（就労継続支援 A 型）	1	軽作業等

医療機関受診状況

通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	14	11	17	12	12	14	10	21	10	9	15	151

利用者の年齢や心身の状況によって、医療機関の受診状況は様々です。職員の付き添いが必要な方もいれば、自立訓練を兼ねて単独で通院する方もいます。普段は単独で受診している利用者も必要に応じて職員が付き添い、医療機関との情報共有、連携強化を行います。

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
けい整形外科クリニック（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100

利用医療機関

医療機関名（50 音順）	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所	神経科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
井野病院	耳鼻咽喉科	姫路市大塩町汐咲 1-27	079-254-5553
魚橋病院	精神科	相生市若狭野町若狭野 235 番地 26	0791-28-1395
けい整形外科クリニック	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533

じむら皮膚科クリニック	皮膚科	姫路市阿保甲 53-1	079-221-7307
仁恵病院	精神科	姫路市野里 275	079-281-6980
せお眼科内科クリニック	眼科・内科	姫路市北原 266-1	079-240-6231
土井医院	内科	姫路市的形町の形 1761-20	079-254-0732
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
はりま姫路総合医療センター	総合病院	姫路市神屋町 3 丁目 264 番地	079-289-5080
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
姫路第一病院	外科	姫路市御国野町国分寺 143	079-252-0581
まつばらクリニック泌尿器科	泌尿器科	姫路市駅前町 271	079-283-3717
みやけ内科・循環器科	内科・循環器科	姫路市大塩町宮前 1 番地	079-254-5175
山本歯科医院	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966
よしだ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	高砂市荒井町扇町 14-13	079-443-0335

職員研修報告

期日	研修名	参加者
5 月 9 日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成講座 「制度とその行動の背景」	柴田
5 月 9 日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成講座 「アセスメントと理解の支援」	柴田
5 月 9 日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成講座 「コミュニケーションの支援」	柴田
5 月 28 日	令和 7 年度 第 1 回 姫路市相談支援事業所全体会	柴田
6 月 13 日	法人内研修「虐待防止について ～人権から考える～」	柴田
6 月 24 日	感染症予防の基本	藤井、柴田、岩城、 川添、新家
8 月 1 日	精神保健福祉支援者研修会	柴田
8 月 5 日	法人内研修 精神障害を有する方への支援	田口、柴田
8 月 5 日	権利擁護支援について	藤井、柴田、鷺尾、 濱西、湯谷、川添、 田口、下川、新家、 岩城、松嶋、原、竹 中
9 月 16 日	BCP について	藤井、柴田、田口、 新家、濱西
10 月 10 日	身体拘束等の適正化の推進	藤井、柴田、濱西、 湯谷、田口、新家
11 月 4 日	AED 研修	藤井、柴田、清谷、 鷺尾、濱西、湯谷、 川添、田口、下川、 新家、岩城、竹中

12 月 5 日	第 17 回 近畿地区グループホーム等職員研修会	藤井
12 月 19 日	兵庫県知的障害者施設協会 R7 年度中堅職員研修会	柴田
1 月 29 日	兵庫県障害者グループホーム支援力強化研修(兵庫県受託事業)	藤井
3 月 2 日	令和 7 年度 第 3 回グループホーム研修	藤井

相談支援事業所 ふらっと

相談支援事業は、利用者や保護者の希望を踏まえたうえで目標や課題を共有し、活動の場・利用頻度などの計画を立てコーディネートする役割を担っている。

概要報告

障害児者自身が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行い、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施した。一人ひとりの特性に合ったサービスが提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングを行った。

● 本人中心支援

本人の意思や人格を尊重し、心身の状況や置かれている環境に考慮し、本人の立場に立った計画相談を行った。本人の思いと関係者の想いに相違がある場合もあるが、一番は本人の生活が良くなるように前向きに考えていくことを大切に進めてきた。

● 相談スキルの向上

日々の申し送りによる情報共有や内部ケース検討を実施し、ケース共有を行った。その他、他事業所の相談支援専門員とも繋がりを作り、多面的に情報収集が出来るように努めた。

● 連携強化

必要に応じて医療関係者、学校関係者、事業所や保健所等関係機関や専門機関と連携し、障害児者の意思や人格を尊重し地域で生活していくための支援を行った。並行し、「ひめりんく」として障害児者やその家族から様々な福祉サービスや日常生活の相談に対応し、必要に応じ教育、就労、医療、年金等の専門機関及び関係機関と連携し福祉サービス等に繋げることで、安心して地域で暮らせるよう支援した。

● 業務の効率化と新規利用者の獲得

業務効率については、目立って大きな策をうつことはできなかった。令和8年度は担当相談支援専門員のみが知っているという属人化を防ぐため、情報や業務内容等、見える化することを課題として進めていこうと思う。新規利用者の獲得に関しては、家庭環境や状況等に応じて積極的に契約を進めた。

● 権利擁護

利用者本人の権利を守るために、「本人の意向と利益」を最優先に行動した。アセスメントやモニタリングの中でも本人の不安等に気付けるように努めた。その他、解決が難しい複雑なケースにおける関係機関との連携を大切に、権利擁護に努めた。

● 緊急時の対応

契約利用者の中には一人暮らしの人も少なくはなく、緊急時の対応や関係機関との連携は必須となる。日頃からシミュレーションと準備をしながら情報の共有に努めた。その他、相談支援専門員ひとりひとりがそれぞれの利用者を担当しているため、職員に何かがあった際には情報の整理

に時間がかかってしまう。今後の課題として情報の共有と見える化等の仕組み化の必要性が挙げられている。

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1 名
相談支援専門員	3 名

職員研修報告

※地域相談窓口ひめりんく連絡会 年 12 回

※ふらっと事業所内会議 毎週 1 回(毎週金曜日)

期日	研修名	参加者
5 月 27 日	令和 7 年度第 1 回姫路市相談支援事業所全体会	綿野、藤井、柴田
5 月 31 日	2025 年度一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 定期社員基調講演	綿野、藤井、山口
6 月 12 日	一羊会における虐待対応事例や虐待防止委員会の 取り組み内容について	藤井
6 月 25 日	カスタマーハラスメント研修	綿野、藤井
8 月 1 日	精神保健福祉支援者研修会	綿野、柴田
8 月 5 日	法人内研修 精神障害を有する方への支援	綿野、藤井
8 月 20 日	発達が気になる子どもの理解と関わり方	綿野、藤井、柴田
8 月 21 日	就労選択フォーラム	綿野、藤井
8 月 23 日	令和 7 年度第 1 回 地域で支える医療的ケア児等 支援者研修会	藤井
9 月 8 日	令和 7 年度 兵庫県相談支援従事者 スキルアップ研修・触法コース(兵庫県受託事業)	綿野、藤井
9 月 24 日	令和 7 年度テーマ別研修「障害児相談支援研修」 「児童思春期病棟『ohana』の役割・機能について学び、家 族支援に繋がる医療との連携について考える」	綿野、柴田
11 月 14 日	令和 7 年度兵庫県スキルアップ(専門コース別)研修	綿野、藤井
11 月 22 日	令和 7 年度第 2 回 地域で支える医療的ケア児等 支援者研修会	綿野、藤井、柴田
12 月 8 日	AED 講習会 (心肺蘇生法・救急対応研修)	綿野
12 月 18 日	兵庫県知的障害者協会 令和 7 年度 中堅職員研修(障害者虐待防止研修身体適正化 研修)	綿野、藤井
1 月 13 日	法人研修 支援者支援について等研修	藤井

委託相談事業

令和5年度より姫路市地域相談窓口「**東部ひめりんく**」として活動している。相談者が抱える様々な課題や困りごとに寄り添い、適切なアドバイスやサポートを提供することにより、地域社会の繋がりや生活の質の向上を目指せるようにした。令和7年度の相談件数は下記となる。

障害種別（単位：人）									
	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	総件数
児	0	0	28	2	68	0	0	4	102
者	18	1	109	186	49	3	3	57	426
計	18	1	137	188	117	3	3	61	528

地域サロン実施報告

年代ごとに変わってくる悩み、障害があっても安心して暮らす事ができる社会づくりの為に当事者の声を発信し、いろんな立場の人との繋がり・福祉制度を利用し家族だけで抱え込まずいろんな人と繋がることを目的とし実施した。

サロンの特徴

① 地域の交流の場

地域に住む方たちも気軽に参加できる場所。

② 皆さんが主役

年齢男女関係なく、それぞれの思いや個性をお互いに認め合い、楽しく参加できる場所。

③ 出入り自由・無料

“出入り自由・無料”。いつ来てもいつ帰っても良い場所。

放課後等デイサービス オリオン

1. 理念・基本方針

- ・ 楽しく遊び、楽しく学んでいく。
- ・ 個性を大切に「能力」「自己肯定感」「モチベーション」を高めていくための支援を実施していく。

2. 具体的な療育の提供として

◇個別療育（1対1支援）の充実

- ・ 視覚支援（スケジュール・手順書・選択肢提示） → 見通しが持てることで安心感を形成し、パニックや不安の軽減につながる。
- ・ 構造化された学習・活動環境の設定 → 作業スペースの明確化、課題の量・順番の可視化、成功しやすい課題設定。
- ・ コミュニケーション支援（PECS・絵カード・会話支援アプリ） → 自分の思いを伝えられる経験を積み、他害・パニックの減少につながる。
- ・ 成功体験を積むためのスモールステップ支援 → 「できた」を積み重ね、自己肯定感を高める。
- ・ 感情コントロール支援（クールダウンスペース・感情カード） → 気持ちの切り替えを練習し、生活全体の安定を図る。

◇遊びの中で学びを引き出す療育

- ・ ごっこ遊び・ルール遊びを通した社会性の育成
- ・ 感覚遊び（トランポリン・バランスボール等）でバランス感覚や力加減の練習を行い集中力や姿勢調整に効果をもたらす。
- ・ 興味関心を活かした学習（好きなキャラクター→シンボルマークとしてスケジュールに導入）する事で“好きなものが使われている”という安心感を各児童がもてる。

◇安心できる環境の整備

- ・ 個室・余暇スペースの構造化
- ・ 騒音が苦手な児童への配慮（カームダウンスペース）
- ・ 職員の関わり方の統一（声かけ・手順の一貫性）

3. 将来を見据えた支援

◇将来の自立に向けたスキル育成

- ・ 生活スキル（身支度・片付け・金銭理解・時間の意識）
- ・ コミュニケーションスキル（手伝って欲しい等要求を伝える練習）
- ・ 社会性（順番・待つ・他者との距離感）

◇保護者支援・家庭との連携

- ・ 家庭で使える視覚支援ツールの提供
- ・ 困りごとの共有と一貫した対応の提案
- ・ 保護者向け勉強会の実施

◇学校・関係機関との連携（メゾ・マクロ視点）

- ・ 学校との情報共有（支援方法・成功事例）
- ・ 地域資源との連携（相談支援・他事業所）

◇ 将来の選択肢を広げるための体験機会の提供

- ・ 自分の得意を活かす活動（制作・運動・音楽等、複数の活動から好きな活動を選択し意思決定の練習）

4. 重点目標に対する取り組み成果

◇ 療育の質の向上

区分	具体的な取り組み内容と成果
支援技術の向上	・ 絵カード（PECS・選択カード・活動カード）を日常のあらゆる場面に組み込み、 ・ 活動選択 ・ 要求の表出 ・ 気持ちの伝達 ・ 見通しの提示 等、「自分で選べる」「自分で伝えられる」機会を意図的に増やす。 ・ 個々の特性に応じて、スケジュールボード・手順書・作業工程表・おやつの量カードなどの視覚支援を作成し、突発的な不安や混乱を軽減した。 ・ パニック時の対応についても、事前の予兆把握→環境調整→視覚的な安心材料の提示という流れをスタッフ間で統一し、対応のばらつきを減らした。 〈成果〉 ・ 自分の意思を絵カードで伝えられる児童が増え、他害・癇癪などの

区分	具体的な取り組み内容と成果
	問題行動が減少した。 ・活動の切り替えがスムーズになり、「見通しが持てることで落ち着いて過ごせる時間」が増加した。 ・スタッフ間で支援方法が統一され、支援の質が安定した。 ・子ども自身が「できた」という成功体験を積み重ねられ、自己肯定感の向上につながった。
空間の構造化	・児童それぞれの障害特性や個別のニーズに応じた環境・空間づくりを行い、児童全員が安心して過ごしやすく、活動に集中できる居場所を整備。 〈成果〉 ・児童が自ら過ごす場所・作業場所を選択し意思決定の幅が広がった。
権利擁護の推進	・虐待防止・権利擁護・家族支援等の研修に参加し、職員一人ひとりが再認識をして支援に臨む。 〈成果〉 ・児童の困り事を問題行動として捉えるのではなく、“なぜその行動問題が行ったのか”と背景要因を職員間で考えて支援する事を意識。 ・対応に検討が必要な児童に対しては、適宜職員会議の場を設けて支援の統一を図るようになる。

◇ 職員の育成と定着支援

4月に入職した新人職員の早期育成と職場定着を図るため、以下の3つの柱に沿って体系的なアプローチを実施しました。これにより、新人職員のスキルアップのみならず、指導にあたった先輩職員の知識向上、継続的な指導力、および育成に対する自信の醸成にも繋がる。

1. **業務プログラムの作成**：迷いなく業務に取り組めるよう日常業務の基盤を作る。
2. **研修プログラムの作成**：定期的な研修参加又事業所内での会議等を行い、必要な知識・技術を段階的に習得できる教育環境を整える。
3. **報連相（ほうれんそう）の見える化**：チーム内での孤立を防ぐ為、1回/月の面談を取り入れ、それ以外にも面談の機会を設け迅速な相談・対応ができる環境を構築。

◇ 保護者等への支援および情報提供

家庭での困りごとに対する相談援助に丁寧に対応するとともに、今後デイサービスの利用を検討しているご家族の見学の機会も多数設け、支援方法・情報発信の充実を図る。

- **事業所通信の発行**： 定期的な情報発信を通じて、活動内容の見える化と療育方針の共有に努める。

5. 利用児支援：領域に基づく実践報告

毎回の利用において、以下の5領域を基本としたプログラムをすべての児童に必ず実施。（※個別の障害特性や個別課題に応じたプログラムについては、別途個別支援計画に記載し運用）

5 領域の区分	当事業所における具体的支援内容と実践
【健康・生活】	・ 活動前後・おやつ前に必ず手洗いを実施。 ・ 職員が横で手順を示しながら「1回押す」「指の間も洗う」など具体的に伝え、児童は手順カードを見て一つずつ取り組む。
【運動・感覚】	・ 粗大運動・微細運動を取り入れ、身体機能や姿勢・集中力の向上を図る。 ・ バランスストーンやトランポリンなどの体幹遊びを通して、楽しみながら感覚調整を促す。
【認知・行動】	・ 絵カードやスケジュール表で見通しを持てるよう支援。 ・ 活動スペースを明確に区切り、集中しやすい環境を整えることで行動の安定を促す。
【言語・コミュニケーション】	・ 子どもの「伝えたい」を受け止め、表出の機会を増やす。 ・ 絵カード・ジェスチャーなど多様な手段を使い、意思表示の幅を広げる
【人間関係・社会性】	・ 集団活動や遊びの中で、順番を待つ・譲り合うなどの対人スキルを育む。 ・ 地域交流や他機関との関わりを通して、社会性を育てる体験を提供する。

◇ 研修プログラムの実施実績

日程	内容	担当
5. 8	SST オンライン研修	宝谷
5. 9	身体拘束・虐待防止 オンライン研修	宝谷
5. 14	運営指導 オンライン研修	宝谷
6. 12	一羊会 古川氏 「虐待事例について」	全員
7. 19 20	ペクスフェイズ2 習得研修	梶
8. 22	関西福祉科学大学 SW リモート研修	宝谷

11. 14	姫路聴覚特別支援学校 事例発表会	宝谷
11. 20 21	全障研全国大会 出席	梶
11. 21	意思決定支援 ひめラボ主催	全員
11. 29	四幸舎和会 実践報告会	蔭西
12. 10 11 12	サービス管理責任者 基礎研修	蔭西
2. 16	神戸市知的障害者施設連盟 実践報告会	蔭西
2. 17	サービス管理責任者 実践研修	宝谷
2. 19	サービス管理責任者 基礎研修	蔭西
年間研修	TEACCH プログラム研究会 兵庫県支部設立勉強会	宝谷
年間研修	子ども家庭ソーシャルワーカー 資格取得研修	宝谷

- **職員間勉強会の開催：** 強度行動障害養成事業で使用しているテキストを各職員に動画視聴してもらい、行動障害の理解を深めてもらう。
- **年間を通じた専門知識の学習：** 以下のテーマについて、定期的に職員間で意見の交換又知識の共有を行いエビデンスに基づく療育に活かす。
(絵カードコミュニケーション / トークンエコノミー / 意思決定支援)

◇ 行事・イベントの実施実績

毎月詳細な計画を発行し、季節の移り変わりを感じられる行事や、生活スキルを高める活動を計画的に実施。又これら以外にも調理実習や外出訓練を随時取り入れ、楽しみながら学べる環境を提供。

- **春：** お花見
- **夏：** 水あそびの実施
- **秋：** 公園散策
- **冬：** クリスマス会、餅つき大会、初詣

*その他、調理実習等も前年度から継続して実施している。

6. 資格所得者

資格名：子ども家庭ソーシャルワーカー 資格者：宝谷 拓真

7. 事故・ヒヤリハット

事故・ヒヤリハットともになし。

事故内容	件数	ヒヤリ内容	件数
怪我・転倒	0	怪我・転倒	0

その他	0	その他	0
-----	---	-----	---

8. 苦情の状況集計

苦情件数は0件であった。前年度の苦情内容を各職員にも周知徹底し改善した成果である。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

9. 総括と次年度への課題

令和7年度は、法改正に伴う「5領域の見える化」への対応を完了させ、姫路市のローカルルールに基づいた手厚い人員配置を維持することで、地域に根差した質の高い療育環境を提供することができました。また、新人職員の育成や専門的な研修の継続により、組織としての基礎体力が大きく向上した1年となりました。

次年度（令和8年度）に向けては、1年間延長となった姫路市の定員超過特例措置を有効に活用しつつ、さらなる受け入れ枠の安定確保と、より高度な「エビデンスに基づいた個別支援」の徹底を目指します。保護者支援・地域交流においても、今年度築いた土台をベースに、より深みのあるプログラムを展開してまいります。